



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）7月15日号 No. 1534

## 目次

■ 4カ国首都の職種別賃金比較 ..... 1	
—モスクワ・キエフ・ミンスク・アスタナー—	
■ トピックス ..... 9	
キリン一番搾りのロシアでの販売を強化 / 9	
JBICがロシア商業銀行向け輸出クレジットライン / 9	
石州瓦メーカーがロシア社幹部に技術指導 / 9	

## 4カ国首都の職種別賃金比較 —モスクワ・キエフ・ミンスク・アスタナー—

### はじめに

ロシア・NIS圏で事業を展開しているAncorという人材会社がある（<http://www.ancor.ru>）。このほどそのAncor社が、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・カザフスタン各国の首都、すなわちモスクワ・キエフ・ミンスク・アスタナの職種別の賃金相場を比較した資料を発表したので、今回の速報ではこれを紹介してみたい。資料は、ウクライナの経済紙『ジェーラ』のウェブサイトに掲載された。

→<http://delo.ua/education/komu-i-skolko-platjat-v-rossii-159310/>

当然のことながら、ロシア・NIS各国の統計局は、産業部門別の平均賃金といった統計データを発表している。しかし、そうした公式統計は、同諸国に進出している外資系企業が人事・賃金政策を決定するうえで、ほとんど参考にならない。その点、今回のAncor社の資料は、人材会社が把握している現実の相場を反映しているうえに、具体的な職種ごとに分かれており、さらには4カ国のデータが対比可能な形で示されているという点でも、きわめて興味深いものだ。

データは、税引き後の手取りの月額賃金を、米ドルで示したものである。「モスクワのこの職種であれば、5,000ドルから10,000ドルの範囲」といった形で示されている。なお、本速報では、原典で端数のあるデータを四捨五入して示している箇所もあることをお断りしておく。原典では28の職種のデータが示されているが、本速報ではそのうち24を紹介する。原典の図は理解しづらいので、本速報ではデータをより見やすい図に加工した。